

兵庫県立神戸甲北高等学校 令和元年度学校関係者評価

学校関係者評価委員の方々に「令和元年度 兵庫県立神戸甲北高等学校 学校評価」が適切に行われているかを以下のように評価していただきました。

○学校関係者評価

1 キャリア教育・探究活動（産業社会と人間、総合的な学習の時間）の取組について

- ・生徒、保護者の方々からの評価は相対的に高いように思いますが、教職員の方からの評価が低いのが気になります。
- ・生徒・保護者アンケートでも、多くが学ぶきっかけ、取組について理解し、充実した回答が多いと思います。今後も、先生方だけでなく生徒の希望にも沿った様々な職種からのお話などが聞ける機会を与えて下さるようお願いします。
- ・総合学科発表会での生徒たちの自信に満ちた、生き生きとした意見発表を見学した者としては、「そう思う」の評価が、もう少し高くあってもいいのではと感じました。

2 授業、家庭学習、学力向上の取組について

- ・全学年において、家庭学習が計画的に行われていない方が多いと感じました。
- ・この項目に関しては、生徒も保護者も様々な意見がありました。教える先生によって差があるといったことは、たいへん残念なことです。先生の熱心な気持ちが伝わっていないこともあるかも知れませんが、生徒たちもやはり結果がほしいと思うので、教科担当で検討して向上できるような方法を考えていただきたい。
- ・「分かりやすい授業、やる気を高める授業が多い」の評価が全般に低い。

3 生徒指導、ボランティア活動、防災教育、人権教育などの取組について

- ・全体的にどなたの評価も高いと感じました。
- ・「規律正しい学校生活を送っている」の評価で、「そう思う」が全体的に多いのは、素晴らしいことだと思います。

4 その他

- ・ア、イ、ウの項目とアンケート回答番号の1～36について、どこがあてはまるかを大項目等でお示していただけると答えやすかったです。答えやすくするには、アンケート項目の順序性を見直しや精選が必要ではないでしょうか。
- ・外部からは、活気のある学校に見受けられますが、教職員の「各種委員会等を中心に全職員による学校改善・学校改革を推進した」の評価が低い。